

回向偈 えこうげ

願似此功德 がんにしくどく

平等施一切 びようどうせーいっさい

同発菩提心 どうほつぼだいしん

往生安樂国 おうじょうあんらくこく

回向偈 えこうげ

我說彼尊功德事 がせつひそんくどくじ

衆善無辺如海水 しゆぜんむへんにかいすい

所獲善根清淨者 しよぎやくぜんこんしやうじやうしや

迴施衆生生彼国 えせしゆじやうしやうひこく

願わくは、この功德をもつて、

平等に一切に施し、

同じく菩提心を発して、

安樂国に往生せん。

我、かの尊の功德の事を説くに、

衆善無辺にして海水のごとし。

獲る所の善根清淨なれば、

衆生に回施して彼の国に生ぜし

めん。

回向偈 えこうげ

世尊我一心 せそんがいつしん

歸命尽十方 きみようじんじつぽう

無礙光如来 むげこうによらい

願生安樂国 がんしょうあんらくこく

世尊、われ一心に、
せそん いっしん

尽十方
じんじつぽう

無礙光如来に歸命して、
むげこうによらい きみよう

安樂国に生まれんと願ず。
あんらくこく う がん

回向偈 えこうげ

其仏本願力 ごぶつほんがんりき

聞名欲往生 もんみょうよくおうじょう

皆悉到彼国 かいしつとうひこく

自致不退転 しちふたいてん

その仏の本願力、により
ぶつ ほんがんりき

〔仏〕の名を聞きて往生せんと
ぶつ みな きき おうじょう

欲へば、
おも

みなことごとくかの国に到りて、
く に いた

おのずから不退転に致らん。
ふたいてん いた